

おがわ町九条の会

のこれから

憲法学習会

日時 6月28日(土) 1時30分

会場 小川町図書館会議室

テーマ 4.27 名古屋高等裁判所 裁判決

主要新聞論調 (参加費 資料コピー代 500円)



「おがわ町九条の会だより No.27(08.5.9)」でお知らせしたように、4月17日憲法9条をめぐる名古屋高裁判決がだされ、確定しました。「航空自衛隊のイラクでの米軍空輸は憲法9条違反」という判断です。

「平和のうちに生存する権利」は、基本的人権の基礎とし、真正面から9条のもつ意義を明らかにし、これまで憲法判断を避けてきた、違憲訴訟における流れにストップをかけた画期的なものとして大きな反響を呼びました。

政府は「傍論にすぎない」としていますが、判決の何が画期的なのか、9条は憲法上どんな位置を持っているのか、戦闘地域とは、戦争における軍隊の後方支援の意味などについて、判決文全文を読み合わせながらみんなで話し合ってみませんか。

第4回総会

日時 9月7日(土) (時間は未定)

会場 小川町図書館視聴覚ホール

記念講演 小森陽一氏 (東大教授 九条の会事務局長)



第3回町民コンサート

日時 10月11日(土) (時間は未定)

会場 「パトリア小川」

「今年の町民コンサートはまだですか?」そんな声に応えて、お待たせしました。今年も素敵なコンサートを開きます。今、実行委員会で企画を検討しています。お楽しみにお待ちください。



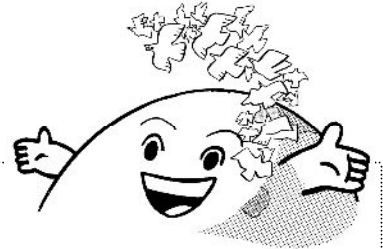


「9条世界会議」開催

5月4日 幕張メッセ

13,000人が参加

新聞 各紙の報道から



読売新聞 (5/5)

憲法9条と、武力によらない世界平和について考える「9条世界会議」が4日、千葉市美浜区の幕張メッセで開幕。北アイルランド問題の平和的解決に取り組み、1976年にノーベル平和賞を受賞したマイリード・マグワイア氏らの基調講演が行われた。夜には、趣旨に賛同する加藤登紀子さんやUA(ウーア)さんらのコンサートも行われた。

幕張メッセ前には1万人を超える来場者が殺到し、会場内に入りきれない人が続出。当日券の販売は中止となり、前売り券の払い戻しも行われた。このため、近くにある野外のメッセモールで入場待ちをしていた約1000人を前に、急ぎ、マグワイア氏らが追加講演を行う一幕もあった。

マグワイア氏は「9条は全世界にとって重要なもの。紛争などは話し合うことで解決できる」と訴え、「会場に人が入りきらなかったのは、世界中の人が平和を求めているからだ」と熱弁を振るった。会議は5日にシンポジウムなどが行われ、6日に閉幕する。



「場外」集会の様様

東京新聞 (5/5)

◆イラク支援ボランティアの高遠菜穂子さんは、武装勢力に拘束された経験を基に発言。「(自衛隊のイラク派遣で)日本が9条を突破したことで人質にされた。殺されなかったのは、私たちがイラクで丸腰で対話を続けてきたと分かったから。9条(の精神)を実践し、9条で命を守られた」と振り返った。

◆作家の雨宮処凛さんは「貧困で生存権を脅かされた人が『希望は戦争』と言う状況は、貧困層が戦争に駆り出される米国に近いものがある。軍事費を削って人が生きるために使うべきだ」と話した。

◆「人類の敵は貧困、病気、無学、人権侵害、テロ、温暖化。戦争ではなくせない。むしろひどくしている」と訴えたのは、米国の平和運動家コーラ・ワイズさん。

◆元日弁連会長の土屋公献さんは「立派な軍隊を持ちつつ9条を世界に広めようとはおこがましいが、矛盾を打破して堂々と呼び掛けるべきだ」。

◆联合国軍総司令部(GHQ)で憲法草案を執筆した米国のベアテ・シロタ・ゴードンさんは「押し付けというが、自分より良いものは押し付けない。日本の憲法は米国より素晴らしい」と日本語で演説し、拍手を浴びた。

◆ノーベル平和賞を受賞した北アイルランドのマイレッド・マグワイアさんの基調報告から「9条を放棄しようとする動きが日本にあることを憂慮している。」「9条は60年間にわたって世界の人々に希望を与え続けた。」「北アイルランド紛争で、私たちは武力なしで平和をつくることが可能だと実践した。」と非暴力の重要性を説いた。